

令和5年度 横須賀小学校 学校評価シート

<p><b>東海市立横須賀小学校</b></p> <p>住所 東海市高横須賀町大塚36番地 電話番号 0562-32-1291 校長名 加古 勲</p> <p>児童/生徒 706名 30学級 (内 特支7:知2・情3・肢1・難1)</p>		<p>○ <b>教育目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明 る く :よく考え、自ら学び、明るく行動する子ども</li> <li>・たくましく :命を尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる子ども</li> <li>・心 豊 か に :豊かな心をもち、互いに高め合う子ども</li> </ul> <p>○ <b>めざす学校づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が元気に楽しく学校生活を送ることができる学校をつくる。具体的には、児童会活動の充実を図り、横小コンサートを中心に歌声の響く学校と、一人一鉢活動やPTA、学校支援ボランティアと連携した花いっぱい学校を目指して取り組んでいく。</li> </ul> <p>○ <b>地域の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古い町並みも残り、学校に協力的な地区である。共働きの家庭が多い割には地域行事やPTA活動などによく参加できている。PTA地区委員は、地域コミュニティの役員や委員としても参加し、連携をとりながら運営されている。</li> </ul>	資料等			
中期目標	今年度の目標	評価方法 (アンケート項目)		結果の分析	課題と対応策	学校関係者評価 【実施日】 令和6年1月24日
知	<p>○分かる授業・楽しい授業の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識・技能の着実な習得 (横っ子テスト、ドリル学習)</li> <li>・タブレット等ICT機器の効果的な活用</li> <li>・授業規律の確立 (姿勢、聞く態度、ノートの取り方)</li> <li>・読書活動の推進</li> <li>・主体的に対話的に深い学びの実践</li> </ul>	<p>児童 設問02授業は楽しく、分かりやすい。設問03授業や家庭学習など、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>教師 設問05子どもたちにとって、楽しく分かりやすい授業になるよう努めている。設問04読む・書く・計算するなど、基礎的・基本的なことがらをしっかりおさえた指導に努めている。</p> <p>保護者 設問06授業において、読む・書く・計算するなど、基礎的・基本的なことがらをしっかりおさえた指導がなされていると思う。</p>	<p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童への設問02では76.3%で、昨年度より高くなり、教師への設問05では94.6%で、昨年度より低い評価となった。</p> <p>基礎的・基本的なことがらをしっかりおさえた指導については、教師への設問04では94.6%で高くなり、保護者への設問06では、80.5%と低い評価となった。</p> <p>児童への設問02、03では「全くあてはまらない」と回答した割合は一昨年度、昨年度より減少した。</p>	<p>授業、学習活動に関して、児童と教師の評価に大きな差があることについては真摯に受け止め、個々の学習状況を把握しつつ、家庭との連携を一層深めていく。また、ICT機器やタブレット端末をより効果的に活用し、分かる楽しさ味わえる授業が展開できるように研究を進め、児童の主体的に対話的に深い学習を実現していく。</p> <p>さらに授業規律の確立は、学校全体で共通認識をもち取り組む。</p>	<p>「なぜできないのか」「指導の問題点」等を明確にして、何を改善すればよいかを児童・教師が話し合いを行い、改善点を見つけてそれを全員で共有できるようにお願いしたい。基礎基本を大切にしたい。</p> <p>先生方が準備を含めて、自信をもって授業に臨んでいる。専門家として授業・学習を充実させる努力をしている。子供たちは幸せである。</p> <p>タブレットを校外学習でも使用してもよいのではないかと感じる。</p>	<p>教務主任、現職教育主任を中心に校内研修を企画し、教員の資質向上を目指す。</p> <p>教員が一人一公開授業を実践し、分かる楽しさを味わえる授業を行う。そのために、効果的なICT機器の活用と「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を進める。また、基礎的・基本的な事柄をしっかりと押さえた指導を常に心掛けることができるよう、授業規律や板書等学校全体で共通認識を図る。</p>
徳	<p>○豊かな心や思いやりの心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を見て、明るく、元氣よく挨拶をする</li> <li>・もくもく掃除、はきものそろえ</li> <li>・一人一鉢運動</li> <li>・思いやりの心を育てる学校学年行事、ペア活動</li> <li>・横小コンサート</li> </ul>	<p>&lt;基本的な生活習慣に関するアンケート&gt; 児童 設問06先生や友達、地域の人などに自分から進んで挨拶をしている。教師 設問06日頃から「挨拶・返事・時間を守る」など、基本的な生活習慣の定着に向けた指導に努めている。</p> <p>保護者 設問09学校が日々の生活を通して「挨拶・返事」など基本的な生活習慣の定着に取り組んでいると思う。</p> <p>地域住民 設問02横須賀小学校の子どもたちは、しっかり挨拶をすることができていると思う。</p> <p>&lt;特色ある学校行事に関するアンケート&gt; 児童 設問08横小コンサートをはじめとして、みんなで合唱曲を歌うことを楽しみにしている。</p> <p>設問09一人一鉢活動をはじめとして、花を育てることを楽しみにしている。</p> <p>教師 設問02校訓を踏まえ、「花と歌」をテーマに横小コンサートや一人一鉢など特色のある教育活動に力を入れている。</p> <p>保護者 設問02学校が「花と歌」を言葉に「横小コンサート」や「一人一鉢運動」など、特色のある教育活動を進めているのは、よいことだと思う。</p> <p>地域住民 設問10横須賀小学校が「合唱」や「花を育てること」に力を入れて活動していることは、とてもよいことだと思う。</p>	<p>&lt;基本的な生活習慣に関するアンケート&gt; 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答は、児童76.2%・保護者74.6%と昨年度より若干低い評価となり、地域住民は74.8%と昨年度より高い。ただし、教師を含めた4者の回答を比較すると教師の評価と、3者の評価には大きな差があり、挨拶の指導が、学校外では十分に表れていない。</p> <p>&lt;特色ある学校行事に関するアンケート&gt; 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童への設問08、教師への設問02、保護者への設問02とも昨年度より高い評価となった。さらに、8割以上の保護者、地域住民の方々に、「合唱」や「花を育てること」に力を入れて活動していることはよいことであると理解が得られている。</p>	<p>児童の主体的な活動 (挨拶運動等) を実施し、児童一人一人が学校内外を問わず、いつでも元氣な挨拶ができるように取り組む。また、基本的な生活習慣の定着に向けて家庭・地域とも協力しながら根気強く指導する。</p> <p>4年ぶりに横小コンサートが芸術劇場で実施できたことで、昨年度より横小コンサートについて評価が高くなったと考えられる。児童は行事や活動を通して大きく成長する。今後は、練習方法も含め新しい活動ができるように工夫や方法を検討し実施していく。</p>	<p>交通当番のとき、こちらが挨拶をかけるとほぼ、子どもたちは挨拶を返してくれる。挨拶が定着していると思う。</p> <p>挨拶は、しなさいと言われてするのは違う気がする。周りの大人が先に挨拶をしている姿を見せていくことが大切だと思う。</p> <p>「花を育てることを楽しみにしている」児童が少し減っているのが残念。土いじりのセラピーもあるので心の状態によいのでは考える。</p> <p>芸術劇場で横小コンサートができたのはよかった。改めて保護者や地域の方は楽しみにしていると感じた。</p>	<p>児童会担当を中心に、挨拶運動等、児童の主体的な活動 (キャンペーン活動等) を継続し、元氣よく挨拶ができる児童を目指す。また、教職員は児童のよき手本となるように率先垂範に心がけ、根気よく指導する。地域と関わる活動ができるように地域連携を図る。</p> <p>「横小コンサート」「一人一鉢」など特色ある本校の伝統的な中心行事として、各担当を中心によりよい運営を進める。</p>
体	<p>○強固な心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活習慣の確立 (早寝、早起き、朝ご飯)</li> <li>・命の大切さを知り、自らの安全を守る意識の向上 (道徳、体験活動、KYT登校、教育相談)</li> <li>・なわとび集会等の取組</li> </ul>	<p>児童 設問07放課には、自分も友達もけがをしないように安全に気をつけて遊んでいる。設問10「早寝・早起き・朝ご飯」など、規則正しい生活をしている。</p> <p>教師 設問09子どもたちの健康や安全に配慮し、適切な対応をとっている。</p> <p>保護者 設問13学校は子どもたちの健康や安全に配慮し、適切な対応をとっていると思う。</p> <p>地域住民 設問05横須賀小学校では、交通安全・防災など安心・安全に配慮した取り組みを行っていると思う。</p>	<p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童への設問07では88.3%、教師への設問09では94.6%、と高い評価であった。保護者への設問13では85.1%、地域住民への設問05では69.3%で、昨年度より高い評価となった。さらに、児童への設問10では68.5%で、昨年度より若干低下した。コロナ禍が終息の傾向のある中、学校生活での日常が戻り、生活リズムもよりよくなってきている。</p>	<p>児童の健康・安全に対する意識はあるものの、体調不良を訴える児童、学校生活でけがをして保健室を利用する児童は数多くいる。落ち着いた日常生活の維持・運動の促進など、学校全体で健康・安全に関する活動に取り組む、健康の増進や、けがや事故を回避する力を育てていく。今後も家庭と協力して規則正しい生活に心がけ、基本的な生活習慣を整えていく。</p> <p>また、心の不安定を抱える児童が増えている。初期発見と対応を職員がチームを組んで取り組む必要がある。</p>	<p>コロナを経験し、先生方は子どもたちの健康や安全について以前にもまして配慮していただいている。先生方の健康や安全のほうが心配だ。</p> <p>心の不安定をかかえる子が低年齢化している。自分の命・周りの人の命をどう守るのか「生きる力」をつけてほしい。</p> <p>コロナも落ち着き、少しずつ体力づくりをしていきたい。</p>	<p>養護教諭を中心に、さわやか点検を継続し、児童の生活習慣を把握し、保護者と連携して課題改善に努める。</p> <p>体育主任を中心に、縄跳び集会等体力向上に向けた活動を充実させる。</p> <p>校務主任や交通安全担当が中心に「自分の身は自分で守る」という意識をしっかりとめさせ、安全な日々の指導を丁寧に行う。</p> <p>生徒指導主事・保健指導主事が中心に、児童が学校に居場所をもち、自分と相手を大切にできる取組と活動を進める。</p>
地域連携	<p>○地域の教育力の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭や盆踊り、コミュニティスポーツ大会等地域行事への積極的参加と共催</li> <li>・校区探検、山車蔵見学など地域素材の積極的活用</li> <li>・さまざまな分野における、学校支援ボランティアの積極的な活用</li> </ul>	<p>保護者 設問04学校が学校だよりやブログなどで学校の様子を家庭や地域へ分かりやすく伝えていると思う。</p> <p>設問15学校公開や学校行事などに積極的に参加していると思う。</p> <p>地域住民 設問09横須賀小学校は、学校だよりやホームページ・ブログを通じて、学校の様子をよく分かるように伝えていると思う。</p> <p>設問07横須賀小学校は地域の活動や行事によく協力している学校であると思う。</p> <p>設問08私たち地域住民は、横須賀小学校に対して協力できることが多くあると思う。</p>	<p>「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、保護者への設問04では85.4%、地域住民への設問09では70.4%で、ともに昨年度より高い評価となったが、保護者への設問15では90.4%と昨年度より若干低い評価となった。</p> <p>地域住民への設問08では78.1%で、多くの方に学校へのご協力の思いがあり、活動に対する理解度が高い。また、「わからない」との回答は、昨年度より減少している。</p>	<p>ブログの更新や定期的な学校・学年・保健だより等により、家庭・地域に児童の様子や情報を伝えている。今後さらに、保護者・地域の方々に学校へ足を運べるよう積極的に情報共有を図り、さらに連携を密にしていく。</p> <p>地域住民によるアンケート内容は、学校・児童と地域との関わりについては概ね良好な関係にある。多くの地域行事が児童の参加できるものも増えてきているので、地域の一員として活躍できる児童を目指し、今後も地域との関わりを深めていく。</p>	<p>地域行事が再開しよかった。地域との交流で顔を覚え、挨拶するのはよいと思う。</p> <p>祭りがある地域であることは大きな誇り。地域とつなげる機会、地域の歴史を知る大きな環境であるので今後も大切にしたい。</p> <p>横小ブログが大好き。更新が少なくさみしく感じる。お便りが分かりやすい。</p> <p>祭等の地域行事が戻ってきたことで、子どもたちの楽しめることや地域の方々との触れ合える機会が増えて喜んでいる。地域に開かれた学校である。</p>	<p>校長・教頭を中心に、学校支援協議会の活動について、保護者や地域住民に浸透を図るために、PTA総会や理事会等で広報する。また、HPや学校だより等で、家庭・地域に学校の児童の様子や支援協議会の活動と情報を定期的に伝える。</p> <p>学校行事、地域行事を昨年度より多く実施することができた。さらに学校・家庭・地域が協働して児童のために活動できるよう、学校が地域に協力できること、保護者・地域に協力していただけることについて全職員で共通理解し、積極的に連携を進める。</p>